



社会実装看護創成研究センター
センター長・教授
須釜 淳子



藤田医科大学
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

Well-being向上のためのアドバンストスキンケアの開発と社会実装

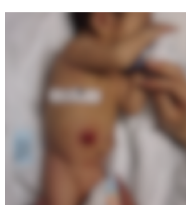
概要 Well-being向上のためのアドバンストスキンケアの開発と実装に向け、炎症や創傷に対する病態メカニズム解明・スキンケア考案・アウトカム評価・臨床実装に取り組んでいる。特に、看護理工学手法と社会実装の融合により、バイオフィルム、皮膚細菌叢、皮膚バリア機能の評価とケア開発を多職種・多施設・複数力国で展開する。具体的に、褥瘡・浮腫・失禁関連皮膚炎に着眼しており様々なバイオロジー手法やアイデアを求める。

研究のゴール 看護と理工学の融合により日常生活支援のためのヘルスクエア促進を目指したい

創傷（きず）



褥瘡（床ずれ）



ストーマ（人工肛門）

炎症



失禁関連皮膚炎
（おむつかぶれ）



蜂窩織炎

浮腫（むくみ）

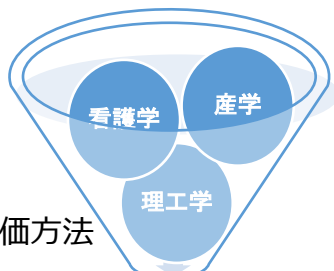


リンパ浮腫

ケアイノベーションと社会実装

新たな評価指標開発

- ・早期発見指標
- ・リアルタイム・非侵襲的評価方法
- ・生活の質／満足度／医療の質評価方法



ケアイノベーション

提供するシーズ

新たなケア開発

- ・メカニズムに基づいた新アプローチ
- ・セルフケア支援のための新たな医療機器
- ・遠隔でのケアシステム・教育システム
- ・アプリケーション開発

看護理工学のプロセス

